

「生命（いのち）の安全教育」実践報告書

活動名	思春期講演会「いのちのはなし」		
学校名	神奈川県立相模田名高等学校		
学年	1 学年	人数	270 人
日時	2022 年 10 月 24 日（月） 13 : 30 ~ 14 : 30		
取扱いの分類	思春期に関する講演会		
講師	相模原市中央子育て支援センター 保健師		
学習のねらい	命の誕生について確認し、思春期の時期の心と体の変化と向き合い方を知って、正しい行動選択ができるようになる。不安とうまく付き合う方法を知る。		
内容	<p>（はじめ） 健康について考える。 健康とは、心も体も生き生きとしていて、人とのつながりを持っていてのこと。</p> <p>（なか） 命の誕生について。思春期の心と体の変化について知り、思春期に起こる心の不安感を知る。不安には解決できる不安と解決できない不安があり、それぞれ対処方法が違う。自分のからだを大切にする3つ。①「食べる」「動く」「眠る」を疎かにしない。②痛みや不快な感覚をそのままにしない。③プライベートゾーンを守る。相手のことを大切にするための3つのこと。①「食べる」「動く」「眠る」を邪魔しない。②痛みや不快な感覚を与えない。③プライベートゾーンを侵さない。=相手の同意がないのに、見たり触ったりすることは性暴力です。相手が異性でも同性でも同じ。妊娠・性感染症を防ぐにはどうするのかを知る。</p> <p>（まとめ） 思春期に起こる心と体の変化を知り、正しい知識をもって不安感に対処することが大事。自分ひとりで抱え込まずに信頼できる人や専門窓口に相談する。</p>		
成果	思春期である高校生が自分の心と体の変化や起こりうる不安感を事前に理解しておくことは、実際に起こった際に対処しやすくなる。		
課題	講演会では一方向からの情報提供であったので、生徒自身に考えさせ、判断する力を身につけさせるために、自分の考えをまとめさせたり事後指導が大切である。		
性に関する指導の手引き 参考箇所	高等学校における性に関する指導の目標及び指導内容		

【講演会の様子】

